

教育 かしま

第55号

回覧

発行日
令和5年9月1日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会
TEL0299-82-2911 (内線523)



(電子版はこちらから)

総務就学課

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

学習のイメージ



文章を読む力を伸ばす

「よむYOMUワークシート」を試験的に導入



読売新聞が作成した補助教材「よむYOMUワークシート」を、小学4・5・6年生と中学生を対象に9月から試験的に導入します。

「よむYOMUワークシート」は現在全国の660校に利用され、児童生徒の読解力向上に効果を発揮しています。

「よむYOMUワークシート」には小学校高学年向けと中学生向けの2種類があり、いずれも1シートには600字から800字程度の記事に、3つほどの設問があります。記事と図表を結び付けて内容をしっかり理解するとともに、筆者の狙いも押さえないと正解にたどり着けない問いとなっています。1シートに要する時間は10分から15分程度です。

子どもたちが初めて目にする文章でも読み解ける力を身に付けることで、言語能力や情報活用能力、論理的思考能力アップが期待されます。

よむYOMUワークシートの詳細はこちら！



豊かな語学力を身に付けて、グローバルに活躍する存在に

英語プレゼンテーションフォーラム



市内3中学校が
県大会に出場！

6月16日（金）、中央公民館で「英語プレゼンテーションフォーラム鹿嶋市大会」が開催されました。

大会では、事前に示されたテーマについて、5分以内で英語による発表を行います。発表の後には、聞き手からの質問と発表者からの回答、感想を英語でやり取りする時間が4分間設けられます。

審査では、発表者に対しては提案力や表現力を、聞き手に対しては相手のプレゼンテーション内容を理解したうえで意見のやり取りができているかなどに着目

します。発表は事前に練習して大会に臨めますが、どのようなやり取りになるか予想することができず、英語の即興能力が求められます。

市大会の結果、4つの中学校が鹿行地区大会に進出。そして8月2日（水）に行方市のレイクエコーで行われた鹿行地区大会の結果、鹿島中学校、平井中学校、鹿島高等学校附属中学校が8月22日（火）に開催された県大会に出場しました。県大会では鹿島高等学校附属中学校が奨励賞を獲得しました。

発表テーマ 「茨城をよりよい県にするために、SDGsの視点でできることを提案しよう！」

●各学校の発表タイトル

鹿島中学校 「Kashima Fs Dream Park!」

高松中学校 「What we can do to stop food loss & waste」

鹿野中学校 「What we can do for the future of Ibaraki」

平井中学校 「To take back our sea!!」

大野中学校 「We have Ibaraki pride. What can we do?」

鹿島高等学校附属中学校

「Leftovers The unexpected bonus meal」

鹿嶋市のAI教育方針

本市の教育活動における「対話型生成AI」の利用については、教育活動や学習評価の目的を達成する上で、生成AIの利用が効果的か否かで判断することを基本とします。

(文部科学省のガイドラインに基づき、児童生徒の発達の段階や実態を踏まえ、年齢制限・保護者同意等の利用規約[※]の遵守が前提です)

なお現在のところ、本市の児童生徒が使用している学習用端末(Chromebook)では、下記の生成AIは**使用できない設定**になっています。

今後、生成AI自体の性質やメリット・デメリットに関する学習を十分に行い、学校の教育活動における児童生徒の利用に関しては、慎重に対応していきます。

※注 各生成AIサービス利用規約(抜粋)

Chat GPT(Open AI社)…13歳以上、18歳未満の場合は保護者の同意が必要

Bing Chat(Microsoft社)…成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要

Bard(Google社)…18歳以上であること

生成AIとは?

「対話型生成AI」は、あたかも人間と自然に会話をしているかのような応答が可能であり、文章作成、翻訳等の素案作成等、さまざまな場面での活用が広がりつつあります。

【生成AIを使うにあたって必要なこと】

- ・対話型生成AIを使いこなすための、指示文(プロンプト)の習熟
- ・回答は誤りを含むこともあり、あくまでも「参考のひとつに過ぎない」という十分な認識
- ・最後は自分で判断するという姿勢

生成AIの活用がふさわしいかどうかの暫定的な考え方

【ふさわしい活用の例】

- 情報モラル教育の一環として、「生成AIが生成する誤りを含む回答」を教師が教材として使用し、その性質や限界について生徒に気づかせること
- 生成AIを巡る社会的論議について生徒自身が主体的に考え、議論する過程で、その素材として活用させること

【適切でないと考えられる例】

- 生成AI自体の性質やメリット・デメリットに関する学習を十分に行っていない段階で、自由に使用させること
- 作品やレポート・小論文などについて、生成AIによる生成物をそのまま自分の成果物として応募・提出すること

個人情報やプライバシーに関する情報の保護

- ・生成AIに指示文(プロンプト)を入力するときは、個人情報やプライバシーに関する情報を入力しない。
- ・AIが生成した回答に個人情報やプライバシーに関する情報が含まれている場合には、その回答の利用は差し控える。

鹿嶋市小学生国際交流事業

せいあん 中国 西安市の小学生と 鹿島小学校の小学生が交流しました

鹿嶋市の国際交流事業は、市内小中学生が両国の文化や言語・教育に触れることを目的としています。中国との交流事業は2020年1月にも実施しており、約3年半ぶりの実施となりました。

7月13日(木)に鹿島小学校を訪れたのは中国の西安市にある西安高新(こうしん)第7小学校4~6年生の児童61名です。鹿島小学校からは6年生の児童104名が参加しました。

児童は英語を使ってコミュニケーションを図り、自己紹介やテーマに沿ったフリートークでは



緊張した面持ちで話す姿も見られました。

また、英語で誕生日を聞き、同じ誕生日の西安市の児童を各月のグループに連れていく誕生日ゲームでは、グループごとに分かれてにこやかに会話を楽しみ、折り紙などのレクリエーションでは両国の子どもたちが協力して取り組んでいました。

西安市の児童からは、中国の伝統ある舞踊やカンフーなどを披露され、鹿島小の児童は大きな拍手を送っていました。



Welcome to Mikasa Elementary School! (ようこそ三笠小学校へ!)



7月14日(金)三笠小学校で「JICA研修員の学校訪問プログラム」を活用した「異文化交流会」が実施され、6年生の児童106名が参加しました。

学校を訪れたJICA研究員3名(シエラレオネ出身、アフガニスタン出身、ミャンマー出身)は民族衣装を着て登場し、各国の文化や母国語の「ありがとう」について説明しました。

児童は日本の遊びである「折り紙」「けん玉」「こま回し」「かるた」「だるまさんが転んだ」を紹介するブースを準備し、3名を招きました。

ミャンマー出身のネイさんは母国で「こま回し」で遊んだことがあると話し、児童に糸の巻き方や投げ方のコツを教える場面も。アフガニスタン出身のマリクさんは「子どもたちがたくさんの工夫をして一生懸命に日本の遊びを教えようとしてくれたこと、一緒に楽しめたことが嬉しかった」と話しました。

「かしま子ども大学」と「かしま子どもブレ大学」が開校

◆7月から11月にかけて全8講座を実施する「第4期かしま子ども大学」が開校し、第1回講義が7月1日(土)に行われました。



第1回講義「地球・月・太陽の関係を知ろう!」(講師:国立天文台/布施哲治さん)では、ミニチュアでの地球・月・太陽の距離を計算することからそれぞれの関係を感じることができました。参加した児童たちは笑顔で取り組み、「ミニチュアを使い比較することでわかりやすかった」、「さらに興味がわいて、色々なことを調べたい」との感想がありました。

◆8月7日(月)には、初の試みとして、小学3・4年生を対象とした「第1期かしま子どもブレ大学」が開校しました。

第1回講義の「心と身体で絵を描こう!」(講師:みなとのみんなのアトリエ/臼田那智さん)では、10m×3.6mの大きな布へ体を使って作品をつくりました。



児童たちは「みんな

でやりたい放題できて楽しかった」「絵が上手とかは関係なく芸術作品を作ることは楽しいことだとわかった」と満足した表情を見せていました。

◆9月2日(土)に「世界の言葉で遊ぼう!色々な国の人と仲良くなるには?」が開催されます。

総合体育大会

夏の中学校総合体育大会が各地で行われ、多くの生徒たちが参加し、これまでの練習の成果を発揮しました。

その中でウォーターメイツに所属する2名の選手（鹿野中、大野中在籍）と大野中学校陸上部の1名の選手が関東大会へ出場を果たしました。

団体名	競技・種目名	会場
ウォーターメイツ (鹿野中学校)	水泳 4×100mリレー	東京アクアティクスセンター
ウォーターメイツ (大野中学校)	水泳 200mバタフライ 4×100mリレー	東京アクアティクスセンター
大野中学校 陸上部	陸上 女子走幅跳	水戸信用金庫 スタジアム



水について知ろう！水道出前講座

鉢形小学校で6月29日（木）、水道出前講座が行われました。

市の水道課職員が水をきれいにして各家庭に届ける工程を説明し、水質の実験を行ったほか、教育施設課職員がSDGsに関わる節水や節電について講話を行いました。

水質の実験では、北浦で採

取した水と市の水道水に検査薬を加え、それぞれの水の色の変化を比較しました。

子どもたちは変化していく水の色を見ながら、2つの水のどちらがきれいかを熱心に見比べていました。



市内小学校へ雑誌「ちゃぐりん」の寄贈



7月10日（月）に、なめがたしおさい農業協同組合様からJA子ども雑誌「ちゃぐりん」が寄贈されました。

「ちゃぐりん」は、食農教育や地産地消への取り組み、農作物の育て方を学べる内容となっており、市内小学校で食育に活用されます。



▲夫婦塚古墳遠景（南西側から撮影）



▲夫婦塚古墳（後円部・南側から撮影）



古墳は古代の権力者、豪族たちの墓であると言われていています。市内の宮中野地区にある「宮中野古墳群」は、120基以上の古墳を有する県内最大級の古墳群です。そのうち鹿行水道事務所の向かいにある「夫婦塚古墳」は宮中野古墳群の中で最大規模を誇る古墳です。

鹿嶋の文化財 第七回 めおとづかこふん 夫婦塚古墳

墳丘全長107.5m、前方部高さ5.7m、後円部高さ約7.5mの前方後円墳で、6世紀代に築造されたものと推定されています。

平成12年に夫婦塚古墳が市指定史跡になってから、近隣にトイレや駐車場などを設置しました。また、ボランティアの「鹿嶋里山の会」の皆さんの協力により、いつでも見学できるよう草刈り等の整備もされています。本年度は墳丘の北側の下草刈りを行い、さらに見やすくなりました。

ぜひ一度足を運んで、どのような人が埋葬されているのか、古代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



宮中野 豪族眠る 古墳群

宮中野古墳群は「鹿嶋市郷土かるた」にも読まれています。詳しくはQRコードからご覧ください。

